

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	地球地図整備等経費		担当部局	国土地理院		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H20～		担当課室	応用地理部企画課		課長 中島 秀敏		
会計区分	一般会計		施策名	41 国土の位置・形状を定めるための調査及び地理空間情報の整備・活用を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	測量法		関係する計画、通知等	基本測量に関する長期計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球全体の基盤的地理情報を概ね5年毎に時系列データとして計画的かつ着実に整備・提供するとともに、地球地図国際運営委員会及びアジア太平洋GIS基盤常置委員会の活動を支援することにより、国際社会における環境保全を考慮した持続可能な開発の推進をはじめとした我が国の国際貢献に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1)最新の人工衛星データを取得・処理し、信頼性の高い地球地図データを整備する。 2)地球地図の品質を確保するため、品質管理のプログラムの検証と改良を行う。 3)地球地図関連国際会議の技術資料等を作成し、国内外関係機関との調整を図りながら、地球地図国際運営委員会を支援する。 4)アジア太平洋GIS基盤常置委員会の主要機関として、加盟各国及び国内関係機関との連絡調整、委員会開催国との打合せ、各種資料作成等を実施することにより委員会活動を支援する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	53	54	46	45	39	
	執行額	52	52	46				
	執行率(%)	99.6%	97.1%	99.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	砂漠化、森林減少等の地球環境の現状把握、大規模災害等への対処、各種教育等に利用されている。 (定量的な成果目標を示せない理由:目標を数値として定量的に表すことが困難であるため。)		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地球地図データ作成における整備面積とする。		活動実績 (当初見込み)	km ²	94万	504万	565万 (567万)	— (567万)
単位当たりコスト	地球地図データ整備 4.976円/km ²		算出根拠	単位あたりコスト=X/Y X:地球地図データ整備に関する予算執行額(H22年度は28.115百万円) Y:整備量 565万km ²				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	1	1					
	政府開発援助職員旅費	0	0					
	庁費	3	2					
	測量庁費	29	25					
	政府開発援助測量庁費	13	11					
	計	45	39					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・全球をカバーする統一的な地理空間情報の整備は重要であり、地球環境問題等に適切に対処することが可能となる。</p> <p>・効率的、効果的な予算の執行に向け、調達にあたっての更なる競争性の向上等改善を図っていくこととしている。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>・成果の活用を促進するため従来から大学等と連携を図っているが、土木研究所等の研究機関とも連携を図り、成果の活用に努めている。</p> <p>・発注先の選定に当たっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から簡易公募型を含む指名競争入札方式による手続きを行い、当該手続きに基づき十分な周知期間をとるとともに、随意契約においては会計法及び予算決算及び会計令に基づき、当該事業を実施できる唯一の者と契約を締結している。</p>		
	<p>予算監視・効率化チームの所見</p>		
一部改善⑤	<p>大学等との連携についての積極的な取組は評価できる。引き続きコストの縮減、競争性・透明性の高い発注先の選定に取り組み、具体的な成果を明らかにしていくこと。</p>		
	<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>		
<p>チーム所見を踏まえ、引き続きコスト縮減や発注方法の改善等、事業実施の効率化・透明性を図る。</p>			
<p>補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）</p>			

※平成22年度実績を記入

国土地理院
46百万円

職員の旅費等
1百万円

地球地図データの整備
及び更新技術の開発の
実施。また、地球地図国
際運営委員会、アジア太
平洋GIS基盤常置委員会
の支援

【一般競争・指名競争・随意契約】

A. 民間企業(32社)
26百万円

地球地図整備事業に関
する業務、役務の提供、
備品及び消耗品の調達。

【一般競争・企画競争・随意契約】

B. 公益法人(4社)
19百万円

地球地図整備事業に関
する役務の提供。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A(株)マブコン			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	地球地図の品質管理プログラム作成	7			
計		7	計		0
B.(財)日本地図センター			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	地球地図データ整備・更新等にかかる関係国等との調整業務	10			
計		10	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱マップコン	地球地図の品質管理プログラム作成	7	2	68%
2	㈱中央ジオマチックス	地球地図データ作成業務(アフガニスタン国)	6	5	83%
		地球地図のためのメタデータエディタ作成業務		4	81%
3	㈱パスコ 本社営業部	備品・消耗品購入	3	6	70%
4	北海道地図㈱東京支店	品質管理手法の基準作成のための地球地図データ検証業務	3	6	84%
5	応用技術㈱	ソフトウェアの保守	1	3	87%
6	㈱ホサカ	備品購入	1	2	100%
		備品購入		2	92%
		備品購入		3	88%
7	メディアアート㈱	地球地図配信等に係るホスティングサービス及びセットアップサービス	1	随意契約	-
8	㈱翻訳センター	地球地図データ作成・更新マニュアル第2版英語版等のフランス語翻	1	随意契約	-
9	㈱トータルサポートシステムつくば営業所	消耗品購入	0	随意契約	-
		備品購入		随意契約	-
		消耗品購入		随意契約	-
10	㈱根本商事	消耗品購入	0	3	90%
		消耗品購入		2	94%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本地図センター	地球地図データ整備・更新等にかかる関係国等との調整業務	10	1	99%
2	国立大学法人 千葉大学	地球地図データ作成及び分類評価に関する調査検討	9	企画競争	-
3	(財)日本国際協力センター	通訳業務	0	随意契約	-
		通訳業務		随意契約	-
4	一般社団法人日本地球惑星科学連合	大会参加費	0	随意契約	-